

教育目標	教育重点目標	担当	目標達成のための方策	学校評価質問項目 (評価項目)	肯定的評価 %	生保教	評価	(自己評価) 概評と改善策	学校運営協議会評価	
									評価	コメント
(1) 広く知識を求め、不断の勉学に努める生徒を育成する (2) 自己を大切にすると共に、他者を思いやることのできる心豊かな生徒を育成する (3) 積極的に心身の鍛錬に努める生徒を育成する	○ 「学び」の環境づくり 【学力】 ① 授業の質の充実 ② 家庭学習の充実 ③ 地域にかかわる学習の充実	総務	学校行事の計画、立案を迅速に行うと共に、他の分掌や学年会との調整を図りながら学校として円滑に運営できるようにする。	総合的に現在の大東高校の教育活動に満足していますか。(生16保16) 分掌内評価	86.8 76.3		A	・年度当初はコロナの幅広検査の補助や、結果連絡の負担を軽減するため緊急メールへの保護者の登録をクラスごとに細分化するなど、コロナ禍での学校運営に貢献することができた。今後はコロナの感染状況を見ながら、式典やPTA会議など行事における収容数の数など緩和し、保護者や地域に開けた学校を目指す。 ・PTA活動もできるだけ従来の形に戻しながら、保護者との連携や意見を反映できるようにしたい。また、各行事の後には振り返りを行ったので、意見をもとに来年度改善していきたい。	A	行事終了後に、生徒の振り返りもしっかりしてほしい。 生徒にもどのような情報が学校から発信されているのか情報提供をしてほしい。 人目につくところでQRコードがおりてあると情報発信もより効率的になると思う。 フェイスブックの閲覧数やフォロワー数を増加するよう取り組んでほしい。 PTA活動は今後活動していきたい。
			学校案内誌、学校便り、ホームページ、facebook等による情報発信をする。学校便りは全保護者、地域へ配布し、近隣小中学校等への送付、各種学校案内イベント等で配布する。	ホームページや学校便り等を通じて学校の様子は的確に発信されていますか。(生10保11教9)	75.3 82.6 100	A				
		教務	ICT機器の活用を含めた授業改善と、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を展開するための授業研究を行う。また、積極的な授業公開や授業見学を促す。評価と指導の一体化を図る。	授業は、自分の興味関心を高め、学力を向上させるものとなっていますか。(生徒1保護者1)	92.1 69.3		B	・本年度より一人一台パソコンの導入がされ、授業での活用が始まった。classroomを使った課題の配信など、ICT活用を積極的に行う教科もあった。授業の全てをパソコンを使ったものに置き換える必要はないが、パソコンを使用した方が効果的な場面もあるので、研修や公開授業などの機会を通して活用方法の研究を行ってほしい。 ・今年度は全員の先生方に公開授業をお願いし、現在まで多くの先生に授業を公開していただき、教科の枠を超えての参観も積極的に行ってもらっています。なお、授業の感想やコメントがformで見ることができるようになっています。 ・自ら進んで学習に向かう生徒の育成については、大変厳しい評価をいただいた。6月と11月に学習時間調査を行ったが、家庭学習が30分以下の生徒が目立った(各学年十数名程度)。適切な課題を出し、計画的に学習に向かうよう粘り強く働きかけていく必要がある。各教科において学習時間を増やすための方策を考えていただき、教科の垣根を超えて生徒たちに何ができるか話し合う機会を今年度中に持ちたい。		
				ICTの効果的な活用等により、授業の質は充実していますか。(生2保2)	82.8 53.2 88.9	B				
				授業改善に向けた授業公開・参観はきちんとされているか。(教1)	81.5					
		教育開発	教務部と連携し、授業改善に取り組む仕掛けを行う。また、先進校視察などの情報収集を行う。学年会への参加や年間計画作成、指導案作成などを行い、探究活動の支援をする。探究活動と生徒募集をコンソーシアムのプロジェクトと連携させて実行する。	1時間の授業が充実したようになるよう、課題や予習・復習など、計画的に家庭学習に取り組むことができましたか。(生4保3教2)	75.6 63.8 29.6	C				
	自ら進んで学習に向かうことができる仕掛け、課題の出し方等を検討する。校務支援システムや一人一台パソコンの積極的な活用を促す。									
	「総合的な探究の時間」に主体的に取り組む、地域課題について学びを深めることができましたか。(生5保5教4)			90.3 62.2 74.1	A			・教育開発部は少人数ながら、多岐にわたる業務を多方面と調整を行いながら対応出来た。 ・学校評価記述意見(教員)には探究活動について大変ありがたい建設的な意見をいただいた。次年度の年度当初に雲南式探究についての研修を実施したい。来年度の雲南式探究については、企画は教育開発部、運営は学年会の担当としたい。 ・学校評価記述意見(保護者)には、三刀屋高校と比べる記述や大東高校離れと感じる記述があり、生徒募集に危機感を感じる。グランドデザイン実現に向けての研修についても、雲南式探究についての研修とあわせて実施したい。グランドデザイン実現に向けては、探究活動の充実だけでなく、各教科での授業改善が必須である。		
	「総合的な探究の時間」をはじめとする教育活動においては、地域人材等との連携・活用が図られているか。(教5) 分掌内評価	92.6	A							
	図書研修	生徒図書委員会の活動の支援や、図書館の活用のための環境を整備する。読書指導によって、生徒の主体的な学びを支援する。	本校では、図書館利用は活発に行われていますか。(生3)	42.7	D	・現状では、本を読む生徒が少ない。雑誌や漫画にしても貸し出し数はほとんどない。授業で調べ学習をするにしても、インターネットで検索するのが主流で、図書館を利用する機会は少ない。 改善策 1. 総合的な探究の時間との連携を模索する。 2. 進路学習の時に、図書館を利用してもらうことを考える。 3. 図書館に来やすくするために、机やいすのレイアウトを変える。 4. 図書委員に選書してもらい、生徒昇降口に本の紹介のPOPとともに並べ本への関心を喚起する。	D	図書館の活用方法を検討してみてもどうか。 例えば、スマホを図書館で使える場にして、キャリア教育に取り組む場所にするとか。		

	1 年 部	遅刻の防止、清掃の徹底、挨拶の励行に力を入れ、規律ある生活環境をつくるとともに、生活時間やスケジュールの管理に手帳を活用させる。	手帳「カルデアの牧人」を利用することで日々の予定の管理や確認などに有効であったといえますか。(生8) 学年会内評価	52.6	B	・生徒に対して学年部でおこなったアンケートの肯定的評価は以下の通り。遅刻の防止に関する質問項目：92.7%、清掃に関する質問項目：95.6%、挨拶に関する質問項目：89.7%、規律ある生活全般に関する質問項目：95.6%。これまでの学校生活全般の状況はおおむね良好であったと感じている。手帳の活用について2学期以降は、日常的に呼びかけていたわけではないので、活用には個人差が出た。今後、手帳の活用については家庭学習の記録だけでなく、その月の主な学校行事をあらかじめ書き込ませ、行事の確認をするなど工夫して使用させていきたい。		
	2 年 部	総合的な探究の時間や様々な学習活動を通して、視野を広げ、自分自身を見つめ直し、将来の生き方について考えさせる。	「総合的な探究の時間」に主体的に取り組み、地域課題について学びを深めることができましたか。(生5) 学年会内評価	90.3	A	・総合的な探究の時間では、地域で働き活躍しておられるパートナーさんとの交流を通して、自分自身を見つめ直し、将来の生き方について考える時間を作ることができた。また、研修旅行の実施は、よりよい人間関係や社会性を養い、将来に向けて視野を広げるよい機会となった。総合的な探究の時間でのパートナーさんとの交流の仕方をさらに充実させ、より深い学びができるよう改善していきたい。		
	3 年 部	学校行事・生徒会活動・ボランティア・部活動・清掃に積極的に取り組み、物事に主体的に取り組むことができる生徒を育成する。	織部祭や球技大会、遠足などの行事、日々の部活動は高校生活を充実させるものとなっていますか。(生徒11教8) 学年会内評価	94.2 100	A	・コロナの影響でボランティア活動をすることはできていないが、織部祭や球技大会、部活動などについては生徒たちが協力して積極的に取り組み、自分たちで様々なアイデアを出して取り組むなど物事に対して主体的に取り組むことができていたと考える。		

*「評価」欄の基準は肯定的評価の%：A=80%以上 B=65～79% C=50～64% D=50%未満

令和4年度 島根県立大東高等学校学校評価 2 (社会力に関する評価)

教育目標	教育重点目標	担当	目標達成のための方策	学校評価質問項目 (評価項目)	肯定的評価%	生保教	評価	(自己評価) 概評と改善策	学校運営協議会評価	
									評価	コメント
(1) 広く知識を求め、不断の勉学に努める生徒を育成する	○「未来をつむぐ」社会の形に必要な資質・能力の育成【社会力】 ①系統的・組織的なキャリア教育	総務	報道機関への投げ込み、HP、各種広報誌を通して、教育活動の様子や成果を情報発信する。	ホームページや学校便り等により、学校の様子が的確に外部へ発信されていますか。(生10保11)	75.3 82.6		A	・投げ込みは積極的には行えなかったが、刊行物やHP等を通して、生徒の活動の様子を発信することができた。来年度は新聞社やTV(CATV)への投げ込みを積極的にやっていきたい。	A	体育祭の様子がケーブルTV(よいとこネット)はダイジェストであった。高校で撮っていたものを発信していれば、雨天で保護者が直接見られなくてもまだ納得するのではないか。
		生徒指導	生徒会の活動を活発にする。(挨拶運動、美化活動、思いやり活動など)	本校の生徒会の活動は活発に行われていますか。(生14)	83.2	A	・朝のあいさつ運動、募金活動など今後も継続できれば、様々な効果が期待できる。 ・生徒会活動に関しては、コロナ禍により活動が縮小・延期・中止となってしまうことが多かった。 ○来年度は、挨拶運動、募金活動、美化活動、思いやり活動(ピンクシャツ運動)を計画的(何時、どこで、誰が※分担する)にスケジュールを決め、実施できるようにする。	B	B	
			生活アンケート、いじめアンケート等を通じて早期発見速やかな対応に努める。	本校では一人ひとりの生徒を大切に教育が行われていますか。(生13保13)	89.0 73.7	B	・委員会活動が機能していなかった。 ○計画段階で何をしっかりと把握して促しをする。 ・毎月の生活アンケートは担任にとって面談する良い機会となっている。しかし、簡単に記入して提出する生徒もいるようである。			
			本校では生徒理解に基づいて組織的な対応が実践されていますか。(保14教14)	59.0 70.4		B	・担任として、アンケートや面談週間など生徒理解に努める機会があり良かった。 ・生徒指導に係わる緊急対応について、生徒指導主事からの発信が必要である。 ○次の日提出を徹底する。集計等担任の手間を省くことを考え、情報活用できるように変更を考える。			

<p>(2) 自己を大切にすると共に、他者を思いやることのできる心豊かな生徒を育成する</p> <p>(3) 積極的に心身の鍛錬に努める生徒を育成する</p>	<p>② 自己有用感に裏付けられた自己肯定感の醸成</p>	<p>進路指導</p>	<p>個別面談、進路希望調査、進路検討会等を通して、生徒の実態把握に努めるとともに、教職員の共通理解を図る。オープンキャンパスや体験活動の情報を整理して生徒に示し、自主的な参加を促す。「進路の手引き」を通じて、3年間を見通した進路活動を意識させる。</p>	<p>「進路の手引き」、進路ガイダンス、企業・大学等見学などを通しての進路指導は、自分の進路決定に役立っていますか。(生6保8) 分掌内評価</p>	<p>89.5 78.2</p>	<p>A</p>	<p>・各学年部による進路希望調査、3年生進路検討会、模試分析、1、2年生文理・コース選択検討会、3年生進路検討会などで生徒個々の実態把握に努め、教職員間の共通理解を図ったことが、個別面談の高評価につながったと考えている。特に2年生では担任の先生方を対象に、模試や学びの基礎診断の結果説明会を、1学期と2学期の生徒面談週間の直前にそれぞれ行い、それが生徒一人ひとりの面談に役立ったと考えている。来年度は1年生でも2学期に行いたい。今後も継続して生徒面談に役立ち取り組みを進路指導部として行いたい。3年生の進路検討会に関しては、教員間の共通理解の場として重要であるので、参加者がさらに増えるよう工夫をしていきたい。 ・「進路の手引き」をもとに、進路ガイダンス、進路見学会の行事等により、計画的な進路学習を全学年で実施したことで進路に対する意識が高まり、生徒一人ひとりの進路選択の一助となったと考えている。</p>	<p>A</p>	<p>3年生の進路も実現しているようであり、評価している。 共通テストを受けて国公立大学を受験する生徒が少ないことが気になる。 総合型選抜の合格者もあり、しっかりとした進路指導をしてもらっていると思う。</p>
		<p>教科会・学年会で模試結果を分析し、補習や面接・添削指導等、個々の生徒の進路希望に応じた学力向上のための支援を行う。 保護者対象の講演会・説明会の実施や進路だよりにより、進路に関する情報発信を行う。教育開発部や教科会と連携して、1年次から対策をしていく。</p>	<p>先生との面談は、自分の生活を顧みる機会となり、新たな目標設定の場となりましたか。(生9保10) 分掌内評価</p>	<p>91.6 82.1</p>	<p>A</p>	<p>・全学年の夏季補習、3年生の冬季補習を行い、学力強化を図った。また、各学年の模試結果をまとめて先生方に示し、各教科で学力向上のための対策を検討していただいた。特に3年生では、第2回進路検討会で各教科から学力強化策を発表していただいた。また、3年生では、就職・公務員希望者や大学・短大・専門学校への進学希望者に対する面接・小論文指導を先生方に行っていただき、個々の生徒の進路希望に応じた支援を行った。 ・保護者対象の進路講演会・進学マネープラン説明会や10回発行した進路だよりにより、進路に関する情報発信を行った。講演会・説明会は新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ずオンライン(オンデマンド)で行ったが、来年度は対面で実施する方向で検討したい。</p>			
		<p>保健環境</p>	<p>健康診断や健康相談を通して、心身共に健康な生活を送れるように支援する。 相談で得た情報を学級担任やスクールカウンセラー等と共有し、支援方法を検討し実施する。</p>	<p>分掌内評価</p>	<p>A</p>	<p>・3年生3学期に実施している「心と性の相談事業講演会」は、天候不順によって実施ができなくなる可能性があるため「夏休み前」の実施に向けて関係各所と調整を行う。また、実施学年についても3年生のみにこだわらず、全学年向けのもので可能かどうか講演講師と打合せを早めにはじめる。 ・生徒や保護者、担任の先生が心配な生徒など、スムーズにスクールカウンセラーとのカウンセリングにつながることができたと考えている。カウンセリング後のコンサルテーションでは担任の先生方にはお忙しい中十分な時間を確保していただき感謝している。医療機関での診断状況などについても、保護者や生徒から様子を聞いてスクールカウンセラー、保健環境部内、担任の先生と共有することができた。</p>	<p>A</p>	<p>良い取り組みをしているので保護者への周知ももっとしてほしい。</p>	
		<p>教育開発</p>	<p>自分の可能性に気づかせ、将来のビジョンを持たせる。また、その実現に向けたチャレンジを支援する。 キャリアパスポートを利用して、様々な体験から得た学びを自らの進路につなげていけるようにする。</p>	<p>キャリアパスポートの有効活用はなされているか。(生7保9教7)</p>	<p>B</p>	<p>・スペシャレが進路へつながる流れができつつあるが、校内への発信が不足していた。生徒へ魅力を伝えられるよう発信することで、主体的に取り組む生徒を増やしていきたい。まずは、新入生説明会でもスペシャレの説明を行いたい。また、スペシャレに限らず、キャリアパスポートに記載できるようなチャレンジできる場を提供していきたい。</p>	<p>B</p>	<p>良い取り組みをしているので保護者への周知ももっとしてほしい。</p>	
		<p>1年部</p>	<p>学習時間調査、進路希望調査等を用いて生徒面談を実施し、日々の生活の振り返りや目標設定を自分の言葉で表現させる。 総合的な探究の時間や地域活動への参加を通して、様々な価値観に触れ、自分を見つめ、将来の生き方や進路について考えさせる。 人権・同和教育、HR活動、学校行事等を通して自他を尊重する心を育て、豊かな人間関係を構築させる。</p>	<p>学校は生徒が自ら進んで学習に向かうことができるような仕掛けづくりをしていますか。(保4) 学年会内評価</p>	<p>A</p>	<p>・生徒に対して学年部でおこなったアンケートの肯定的評価は以下の通り。面談に関した質問項目：92.7%、総合的な探究の時間に関する質問項目：89.7%。面談や探究学習が日々の学校生活の振り返りや目標設定、あるいは将来の生き方や進路について一定の成果を上げていると考えている。普段、周囲を気遣ったり、互いに助け合ったりする姿が見られ、全体的に良好な人間関係を築くことができていると感じている。今後は生徒自身が学校生活の振り返りや目標設定をより具体的に示せるよう必要に応じて個別に面談する機会を増やしていきたい。</p>	<p>52.6</p>	<p>良い取り組みをしているので保護者への周知ももっとしてほしい。</p>	
<p>2年部</p>	<p>HR活動、学校行事等を通して、他者を思いやる心を育て、豊かな人間関係を構築させる。▼学習時間調査、進路希望調査等を用いて生徒面談を実施し、日々の生活の振り返りや目標設定を自分の言葉で表現させる。</p>	<p>校は生徒が自ら進んで学習に向かうことができるような仕掛けづくりをしていますか。(保4) 学年会内評価</p>	<p>B</p>	<p>・さまざまな教科において生徒が自ら進んで学習に向かえるよう、工夫した授業を行っていただいている。しかし、学習時間調査からも、家庭学習が非常に少ないことが分かる。授業だけでなく、家庭における学習についてもしっかり取り組めるような工夫が必要であった。今後は、自分自身で学ぶべきことを見つけて、進んで学習に向かえるような課題を提示できるよう改善していきたい。</p>	<p>52.6</p>	<p>良い取り組みをしているので保護者への周知ももっとしてほしい。</p>			
<p>3年部</p>	<p>生徒・保護者面談を実施し、学習時間調査、進路希望調査、生活アンケート等を用いて学習状況、進路や学校生活について情報交換や支援を行い、進路目標を実現させる。 学年通信を発行し、学校での生活・学習状況や進路情報を保護者と共有する。</p>	<p>校は生徒が自ら進んで学習に向かうことができるような仕掛けづくりをしていますか。(保4) 学年会内評価</p>	<p>B</p>	<p>・生徒面談、保護者面談では進路希望についての考えを共有し、進路実現に向けて支援をすることはできたと思うが、進路希望が様々な学習に対する取り組みについては個人差が大きく、学習に向かう雰囲気を作るのが難しかったと感じている。また、時間的余裕がなかったこともあり、学年通信を発行する回数が少なかったため、担当を割り振るなどしてもう少し発行できると良かったと感じている。</p>	<p>52.6</p>	<p>良い取り組みをしているので保護者への周知ももっとしてほしい。</p>			

* 「評価」欄の基準は肯定的評価の% : A=80%以上 B=65~79% C=50~64% D=50%未満

教育目標	教育重点目標	担当	目標達成のための方策	学校評価質問項目 (評価項目)	肯定的評価 %	生保教	評価	(自己評価) 概評と改善策	学校運営協議会評価	
									評価	コメント
(1) 広く知識を求め、不断の勉学に努める生徒を育成する (2) 自己を大切にすると共に、他者を思いやることのできる豊かな生徒を育成する (3) 積極的に心身の鍛錬に努める生徒を育成する	○ 互いの人権を尊重する学校づくり【人間力】 ① 確かな人権感覚の涵養 ② 生徒理解に基づく組織的対応	生徒指導	人の気持ちに寄り添い、互いを高め合うことができるようにする。 ルールやマナー及びふるまいの向上につながる活動を生徒会を中心に行わせる。	本校では、学校のルールがきちんと守られていますか。(保6) 分掌内評価	82.6		A	・保護者さんからの意見として、「ゆるくなってきている」というコメントをいただいた。 ○コロナ禍により多くの集会がなくなり、生徒会による身だしなみ指導等も実施できなかった。来年は、生徒総会時(前期・後期)に身だしなみ等生徒会を中心に実施させたい。※身だしなみ検査を廃止した過程で、生徒発信の学校づくりを目標としたため ・校内スマホ使用者が増えてきている。 ・登下校時のながらスマホで注意を受ける生徒が出てきている。	B	1年生の部活動加入率が低い。特に運動部も、来年度もこの加入率では・・・部活動について、生徒にアンケートをしてみてもどうか。生徒の思いが知りたい。「ゆるくなってきている。」というコメントが気になる。あいさつなどもっと改善できるのでは。
			部活動の活性化を図る。 各部活動のリーダーを集め研修会等を実施する。部室の管理を徹底する。	本校では人格形成の場として部活動が活発に行われていますか。(生15保15教16)	90.8 78.3 81.5	B	○各学期終業式時に、生徒指導主事より注意喚起を行う。 ・今年度は、部活動のリーダーを集め研修をすることができなかった。 ○部室や体育館、トレーニング場など施設の使用使用方法など体育部門長をリーダーとして研修を実施する。(総体後) ・部活動加入率が減少し、人数が成立しない部活動が出てきている。 ○来年度は部活動見学期間を設け、一週間程度放課後見学を実施する。(すでに決まっている生徒はそのまま部活動に参加可能とする)			
		図書研修	全教職員が人権・同和教育についての共通理解を持ち指導が行えるように、教職員研修を実施し、指導力の向上につなげる。	本校は人権教育(HR等)をはじめあらゆる場において互いの人権を尊重する教育を行っていますか。(生12保12教11)	84.1 60.9 70.4		B	・生徒に対しては、毎学期の人権HRでは、参加型の授業を行い、人権について考える機会を持つことができた。 ・教職員に対しても、ハンセン病の動画を視聴して、アンケートに感想を記入するという形の研修を行った。多くの教職員の方が視聴されていた。自分の空いた時間に視聴できるのがよかったのではないかと。さらにより動画があれば、紹介したい。また今年度は、三年生だけ外部から講師を呼んで、講演会をしたが、機会があれば、1、2年生にも外部から講師を呼んで、講演会をすることを考えていきたい。	B	保護者への周知をしっかりとしてほしい。 大東中学校が人権教育にしっかりと取り組んでいるので、引き継いで取り組んでほしい。 人権教育も多様化しているため、しっかりと対応してほしい。
	保健環境	生徒自らが自分の健康状態について知り、健康な生活の実践に対する態度や習慣を養わせる。 環境美化や安全点検などを通して、安全で快適な学習環境を整える。	清掃活動はきちんと行われているか。(教12) 分掌内評価	70.4		B	・特に3学期は少人数で広大な範囲の清掃となるため、監督の先生方にもご苦労をおかけしております。年度当初の学校長からの言葉にもありましたように清掃活動についても先生方には「伴走者」であっていただきますようお願いいたします。(監督をよろしく申し上げます) ・清掃担当区域について、①各棟のトイレのうち使用状況の少ないものは閉鎖してはという声があるが、本校が災害発生時の避難所指定を受けていることから実施は不可能である。閉栓処理工事なしに使用停止とした場合、排水設備のつまりや「臭気こもり」が発生する。生徒によっては人気の少ない場所を使用する者もあります。 ②担当区域区割りについては、生徒数の減少のため使用頻度の少ない特別教室はローテーション方式や清掃区域から外すなどして、新年度は担当区域が無理に広いことによる清掃活動の散漫化を防止する。また、廊下などで使用できる大型のモップの購入について事務局と予算について相談する。	B	生徒支援委員会の自己評価はAになってほしい。 大東高校は一人も不登校を出さないという思いでやってほしい。生徒支援委員会が機能することが重要である。	
			早期に生徒支援委員会を実施し、当該生徒の状況を把握してその対策を講じる。	生徒理解に基づく組織的な対応は図られているか。(教14)	70.4	B	・生徒支援委員会は学年会(学年主任)からの要請によって開催するように規定されております。気がかりな生徒については早期かつお気軽にご相談ください。 ・生活アンケートについては生徒指導部の管轄ではありますが、クラスで回収された際に生徒から心配事の記入があった時には面談などで活用いただいたり、保健室にご相談いただいたりできればSCにスムーズにつなげることができますので積極的にご活用ください。			
	3年部		面談時やキャリアパスポート作成時など、様々な場面で、自分で考え、自分の言葉で表現させる。 学校内外の諸活動を通して、他者を思いやる心を育て、互いに認め合い、支え合う豊かな人間関係を構築させる。	学年会内評価				A	・志望理由書を書く際や面接、小論文の指導を通して、自分で考えて、自分の言葉で表現することが少しずつできるようになってきたと感じる。また、6月の学年集会で、各部活動のキャプテン、部長に3年生全員の前で話をさせたが、それぞれ自分で考え、自分の言葉で表現することができていたと思う。 ・生徒たちが受験に向かう際にお互いに応援する雰囲気も感じられ、以前に比べてお互いを思いやり、認め合う人間関係ができてきたと感じる。	

* 「評価」欄の基準は肯定的評価の% : A=80%以上 B=65~79% C=50~64% D=50%未満